

令和4年度第1回 新発田市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和4年6月29日（水）午前10時00分～午前11時00分

2 場 所 新発田市役所5階 会議室502、503

3 出席者

委 員	所属団体・職名	備考
伊藤 純一会長	新発田市副市長	
加藤康弘副会長	新発田商工会議所 事務局長	
高野 健太委員	新潟交通観光バス（株） 新発田営業所長	
庭山奈津子委員	新発田市ハイヤー・タクシー協会会長	
武田 達也委員	国土交通省北陸地方整備局 新潟国道事務所計画課長	
穴水 雄二委員	新発田市維持管理課長	
金塚 傑之委員	新発田警察署 交通課長	
宮下 正一委員	NPO 法人七葉理事長	
佐藤 武男委員	新発田市自治会連合会	
渡辺 肇委員	川東地区自治連合会	
齋藤 啓一委員	松浦地区公共交通協議会	
島谷 尚之委員	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局首席運輸企画専門官	
吉田 誠吾委員	新発田地域振興局企画振興部長	代理出席：地域振興担当専門員 樋熊委員
早川 英雄委員	日本労働組合総連合会新潟県連合会下 越地域協議会事務局長	代理出席：久志田特別役員

事務局（市民まちづくり支援課）

渡邊誠一課長、太田貴輝室長、田中俊介係長、蒲木みゆき係長、天野なつみ主事、小田切達也主事

4 会議概要

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

皆さんおはようございます。

ご多用の中、そして観測史上最速の梅雨明けということで非常に暑い中、お集まりいただきありがとうございます。本年度第 1 回目の会議となる。役員交代などで委員の皆さんの顔ぶれも少し変わってきているが、今年度も 1 年間、ご協力をお願い申し上げます。

さて、先日、当市では大雨と雷被害に見舞われて、道路冠水や住宅への浸水、また、停電などが発生した。JRをはじめ、当会が運行するコミュニティバスなども大きく乱れたが、運行委託事業者の皆さんのおかげで、大きな事故もなく対応できたということである。この場をお借りして改めて感謝を申し上げます。

ようやくここ最近、新型コロナウイルス時代から、日常が以前のように戻り始めているというふうに感じている。観光業や飲食業だけでなく、公共交通事業にとっても今後の利用回復に期待するところであるが、今後は燃料高騰、物価高騰の波がやってきている。まだまだ様々な不安は払拭されていないが、当市でも、燃料物価高騰への支援対策や消費喚起策を急ピッチで進めており、市内事業者の皆さん、また市民の皆さんの元気に少しでも繋がればというふうに願っている。

そして公共交通の方でも、今年は赤谷から五十公野地域の公共交通見直しを急ピッチで進めているので、運行計画が固まり次第またご協議をお願いする。

本日の議題協議と、今年度のご協力を改めてお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。

(3) 自己紹介

(4) 議 事

○議長

まずは、本日の会議であるが、規約第 9 条第 2 項の規定により、過半数以上の委員の皆様から出席いただいているため、会議が成立していることをご報告申し上げます。

【第 1 号議案】新発田市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・第 1 条中の「地域公共交通網形成計画」を「地域公共交通計画」に改める。
- ・規約別表「法第 6 条第 2 項第 2 号委員・公共交通事業者等」の区分中、東日本旅客鉄道(株)新潟支社の「企画室長」を「企画戦略室長」に改める。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第2号議案】令和3年度事業報告及び決算報告について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・令和3年度は協議会を4回開催、書面協議を3回行った。
- ・市街地循環バス（あやめバス）について、年間利用者数は64,970人であり、前年度比+1,065人であった。4,5月は増加し、他の月はほぼ横ばいだった。
- ・川東コミュニティバスについて、年間利用者数は46,004人であり、前年度比+9,326人であった。令和元年度の新型コロナウイルス感染症前の水準まで戻った。
- ・松浦地区デマンド乗合タクシー（まつうら号）について、年間利用者数は2,067人であり、前年度比+157人であった。令和2年度から1本減便し、4便になったが、利用者は増加した。
- ・豊浦地域公共交通について、令和3年10月20日から運行を開始し、年間利用者数は本田・天王号が740人、中浦・荒橋号が190人であった。
- ・市街地循環バス運行状況システムについて、年間アクセス数は13,758件であり、前年度比+3,642件であった。令和3年12月からエリア拡大を行い、それ以降のアクセス数はおよそ4倍になった。
- ・キャッシュレス決済システム導入について、令和4年2月1日から運用を開始した。決済件数はICカードが200件、Webアプリが54件だった。
- ・利用促進事業では、バス待合ベンチの設置、ラジオでの乗車PR放送を行った。
- ・新型コロナウイルス感染症防止対策ということで、運行事業者を経費の一部補助を行った。
- ・歳出の事業費について予算額の84,672,000円に対し、決算額は72,668,571円であり、差額は▲12,003,429円であった。この主な要因は地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金の額の確定による。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第3号議案】新発田市地域内フィーダー系統確保維持計画（令和5年度～7年度）について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・あやめバスの事業目標
 - ①年間利用者66,118人以上、②利用者のうち60代以上の乗車割合を40%以上、③利用者のうち障がい者手帳を提示した人の割合を24.1%以上とする。
- ・川東コミュニティバスの事業目標
 - ①年間利用者数42,201人以上、②利用者のうち障がい者手帳を提示した人の割合を22.2%以上とする。
- ・あやめバスの効果を測る指標
 - ①バス停ごとの利用率、②あやめバスの総収入に占めるコミュニティバス回数利用券の利用率
- ・川東コミュニティバスの効果を測る指標
 - ①川東地区高校生における自主通学率、②川東コミュニティバスの総収入に占めるコミュニティバス回数利用券の利用率
- ・公有民営方式車両購入費国庫補助金
川東コミュニティバスについて、令和5年8月に1台入れ替える想定で計画書に記載
2か年記載する必要があることから、あやめバスについても昨年から引き続き記載する。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【第 4 号議案】松浦地区デマンド乗合タクシー及び豊浦地域公共交通の運行ルートの一部変更について

事務局から資料に基づき説明後、質疑に入る。主な内容は以下のとおり。

- ・まつうら号及び豊浦地域公共交通の両路線とも、新発田駅と西新発田駅の直通運行をするもの。
- ・変更期日は令和 4 年 10 月 3 日から。
- ・豊浦地域公共交通の第 4 便のみ 10 分ほど乗車時間が伸びるが、他の便の現在の利用者に影響はない。
- ・利用料金の変更はない。
- ・市のホームページ及び地域配布などで周知したのち、10 月 3 日から変更する。
- ・予算は事業費内の調整で対応する。

質疑無し、議長から諮り、全員異議なく承認された。

【報告（1）】五十公野～赤谷地区公共交通見直しの進捗状況について

主な説明内容は以下のとおり。

- ・定路線迂回型運行を基本とした運行を目指し、これまで地域会議を 3 回行ってきた。
- ・新たな運行は令和 5 年 4 月を予定
- ・現在の運行は、小・中学校の通学利用との混乗方式で平日は 1 日 15 便、休日は 1 日 4 便
一般利用者数については、平日朝・夕は 2～5 人ほど、それ以外は 1 人前後。休日は 0.5 人程度
- ・運行ルート案、時刻表案については資料のとおり。
- ・今後は運行内容について 9 月下旬には協議会で協議を行い、その後運輸支局へ許可申請をする。

○委員

なぜ一般利用とスクールバスを分けて運行するのか聞きたい。経費面や、運用面で合理性があるのか。

○事務局

公共交通空白域を解消するために、なかなか大型バスでは入っていけないところをカバーするには小型車両での運行が必要になる。小・中学生が乗るとなると人数が多いために分ける必要があった。

○委員

確認だが、今現在走っている新潟交通観光バスさんは撤退されるということか。

○事務局

廃止代替路線から切り替えるということになる。

【報告（２）】豊浦地域公共交通の利用状況について

主な説明内容は以下のとおり。

（本田・天王号について）

- ・令和３年１０月～令和４年５月までで延べ 986 人利用
- ・1,2 便（新発田方面行き）は 533 人、3,4 便は 262 人、月岡便は 191 人の利用
- ・新発田方面行きに対して豊浦地域方面行きの利用が少なく、特に 3 便が少ない（80 人）。

（中浦・荒橋号について）

- ・令和３年１０月～令和４年５月までで延べ 273 人利用
- ・1,2 便（新発田方面行き）は 136 人、3,4 便は 131 人の利用
- ・1,4 便で定期利用者があるが、それ以外の利用はかなり少ない。

（今後の利用促進策）

- ・新発田駅と西新発田駅を直通にする。
- ・実際の利用者へ聞き取り調査を実施する、
- ・乗り方教室やチラシ配布などを行っていく。

【報告（３）】まつうら号、本田・天王号、中浦・荒橋号の運行内容変更について

主な説明内容は以下のとおり。

（まつうら号「剣龍峡入口」の予約方法変更）

- ・令和４年 10 月から電話予約に切り替える。

（中浦・荒橋号「朝日ヶ丘団地前」停留所の移設）

- ・市道横堀乙次線沿いから団地に近い場所へ移設する。

（まつうら号、豊浦地域公共交通におけるペット同伴の取扱いについて）

- ・バス車両についてはペットをケージに入れることで乗車可能とする。
- ・まつうら号、豊浦地域公共交通のタクシーと通勤用車両においてはペットをケージに入れても乗車不可とする。

5 その他

特になし

6 閉会